

事業所名

放課後等デイサービス とらいあぐる

支援プログラム

作成日

7年

3月

13日

法人（事業所）理念		共に歩む					
支援方針		SST,運動療育、集団療育を取り入れ日常生活における身の回り行動を行える（身辺自立）ようにサポートする。 学校や家以外の場所で安心して落ち着いて過ごせる居場所を目指します。					
営業時間		10時	0分	17時	45分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	生活リズムを身につける…スケジュールの提示、同じ時間に食事、排泄誘導をする。身の回りを清潔に保てるように手洗いを習慣化する。 汚れの認識をし、きれいにすることを学ぶ。片付けの習慣を身につける。 基本的な生活スキルの獲得…作業療育を通して手先の使い方、力の使い方を学び、食具を使用し手食事が出来るように支援します。					
	運動・感覚	姿勢の保持…体幹の強化、姿勢の習得 外遊び、体操を通して運動能力の向上。月2回のヨガの実施。 月1回のアロママッサージの実施。 月3回の音楽療法の実施。 工作…季節を感じられる作品作り。指先や手で感覚や感触を得て、興味を持ってもらえる取り組み。 季節に応じた行事の実施。					
	認知・行動	作業療育によるマッチング、紐通し、型はめ、プットインなどを行うことにより数量、大小、色、空間の概念形成の習得。 物の場所・置き場所を視覚的にわかりやすくし、片付けやすくする。スケジュールを視覚的にわかりやすく提示。切り替えの時にはタイムタイマーを使用し、切り替えを促す。 強度行動障害のある児童には環境をわかりやすくし、個別又は小集団での療育を行う。					
	言語 コミュニケーション	ひらがなカードなどを使用し、発語を促す訓練。写真、絵カード、文字、サインを使用し、自分の思いを表出出来るように児童に合わせて支援する。 集団療育や余暇時間に年齢の異なる児童との関わりを持てる場を提供し、集団の中での過ごし方を学ぶ。 運筆練習、お勉強プリント、絵本の読み聞かせ。					
	人間関係 社会性	指導員と児童との信頼関係の形成。興味を持てる遊びを通して参加する手段や、ルールを理解し集団活動に参加できるように支援する。 近隣のお店に行き、自分の食べたいおやつを選択し、お金を支払い、お買い物でのルールや社会性を学ぶ。 始まりの会、終わりの会に参加することで、名前を呼ばれたら返事をする、挨拶をする、人前で発表することなどを学ぶ。					
家族支援		家庭での困りごとに対するサポート 延長支援サービス			移行支援		学校・関係機関との連携
地域支援・地域連携		近隣のお店でのお買い物 地域のお祭り、事業所主催のハロウィンイベントなどでの交流			職員の質の向上		定期的な研修 毎日のミーティングによる情報共有 各種委員会の設置
主な行事等		季節行事 水遊び、秋祭り、ハロウィン、クリスマス会、初詣 等 年3回 避難訓練					